

《令和五年度 暗唱⑨》

ひやくにんいつしゆ  
百人一首 五選

あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の  
ながながし夜を ひとりかも寝む

かきのものひとまろ  
柿本人麻呂

わが庵は 都のたつみ しかぞすむ  
世をうち山と 人はいふなり

きせんほうし  
喜撰法師

これやこの 行くも帰るも 別れては  
知るも知らぬも あふ坂の関

せみまる  
蝉丸

あま かつ かせ ぐも  
天つ風 雲のかよひ路 吹きとぢよ  
おとめ すがた  
乙女の姿 しばしとどめむ

そうじようへんじよう  
僧正遍昭

ちはやぶる 神代もきかず 竜田川  
からくれなゐに 水くくるとは

ありわらのなりひら  
在原業平

わか かくしや  
\*和歌と作者と、あわせて  
おぼ  
覚えてください。

